



豊富な経験・理論の 集大成として開院

交通の便がよく、足腰に疾患を抱える患者でも通院しやすいJR戸塚駅近くで、2011年8月に開院した、いしずえ整形外科。同院の大久保俊彦院長は、数々の総合病院で骨・関節疾患治療に27年以上携わり、人工関節置換術や骨切り術を中心に数多くの手術を実施してきた医師だ。その豊富な経験は、人工関節の適切な設置位置の選定、適切な力を出せるような筋の処置、手術時間の短縮といった技術の習熟に加え、整形外科医療における理論の構築にもつながったという。

同院は、大久保院長の技術・理論の集大成として、高度な整形外科医療を地域で実践することを目的に開院された。「病院に勤務していた頃は手術を中心に行っていた



院長 大久保 俊彦

おおくぼとしひこ ●1983年、杏林大学医学部卒業後、日本医科大学麻酔科や横浜市立大学整形外科、横浜市市民病院、関東労災病院、横浜南共済病院への勤務、大口東総合病院整形外科部長、西横浜国際総合病院関節外科センター長を経て、いしずえ整形外科を開院。92年に横浜関節研究会を設立。2007年にNPO法人骨関節専門研究会を設立。日本整形外科学会認定整形外科専門医など。

同院の待合室。若年層から高齢層まで、患者の年齢層も幅広い



豊富な経験や研究がフィードバックされた手術

ましたが、地域のニーズに合わせたことで治療の裾野が広がりました」というように、診察の対象は変形性関節症に加え、脊椎疾患、スポーツ障害、関節リウマチ、外反母趾、五十肩などと幅広い。それらに対する治療も、4人の非常勤の医師と協力して知識を結集し、最新治療薬を用いた骨粗鬆症治療、五十肩で癒着した組織を生理食塩水の注射で剥がすパンピング療法といった、一般のクリニックではあまり見られない治療法を積極的に実施する。重症例の患者も多く、手術も2つの病院と連携して大久保院長自らが毎週行っているにもかかわらず、手術日程が4カ月先まで埋まっている程だ。

適切なリハビリ・運動で 機能向上を狙う

同院の治療法の中でも特徴的なのは、リハビリによる機能回復だ

ろう。「体は道具と同じで手入れをすることが大事です。正しいストレッチや運動を行うことで機能が向上するのです」。そう語る大久保院長は、院内で行うリハビリだけでなく、日常生活でできる運動で機能向上を狙う能動的リハビリにも着目し、自ら立ち上げた「骨・関節研究会」で研究を重ねている。

それは手術でのリハビリにも活用される。術後だけでなく、術前から適切なリハビリを行うこと

豊富な整形外科医療の経験で 機能向上を目指す治療を実践

で、早期の機能回復・退院につながり、あわせて術後に運動療法を継続することで、機能向上が得られるのだ。大久保院長は自ら、機能回復に効果的なエクササイズの研究に取り組み、実際の指導にも携わっている。「患者さんの術後の機能を理解している医師がエクササイズを指導することで、患者さんも安心して受けられます」。こうした研究は手術にもフィードバックされており、効果的に機能を回復させる人工関節置



機能向上のためのエクササイズを指導する大久保院長

INFORMATION

診療科目：整形外科
診療時間：月～金 9:00～12:30 / 14:30～18:30
土・日 9:00～12:30

休診日：火・祝

〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-12 フタバビル501

TEL.045-881-1188
<http://ishizue-seikei.com/>

●骨・関節研究会ホームページ
<http://home.s04.itscom.net/kansetu/>

●横浜股関節研究会ホームページ
<http://home.f08.itscom.net/hipjoint/>

換術や骨切り術が可能になったという。幅広い治療や研究・指導を精力的に行う大久保院長を頼り、同院に訪れる患者は開院以来増え続けている。今後は高度な医療を継続的に提供するためにも、各分野に長けた医師やインストラクターなどを育て、協力的体制を取ることにも目指していくという。大久保院長は、「完成することがないのが医療」と考え、常に挑戦者としての気持ちで、最善の医療を追求し続けている。